



特集

- 第1回理事会にて JMRA2025 年度の体制が決定しました
- APRC カンファレンス 2025: JMRA50 周年イベントと併催
ー 世界に目を向け、アジアと共に発展する業界を目指そう！ ー

TOPICS

- インターネット調査の未来を守るには: モニター管理者視点で見た現場の限界と調査改革の提言
- 広報セミナー委員会主催セミナー「著者が語るシリーズ 2025」

Vol.92

2025/6/17 配信

日頃より JMRA の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、私たちのリサーチ業界でも関心が高まっている「AI の活用」について、その現状と将来の可能性に少し触れたいと存じます。

AI は既に、SNS 上の膨大な口コミやアンケート自由回答のテキストマイニングを通じた潜在ニーズの掘り起こし、POS データ等と連携した精密な顧客セグメント分析、さらにはインタビュー音声

の自動文字起こしや定型レポートのグラフ生成・サマリー記述支援など、リサーチ業務の質と効率を飛躍的に向上させる力として実用化が進んでいます。

将来的には、複雑な市場トレンドや消費者行動の予測精度がさらに高まり、新たなリサーチ課題の発見や調査仮説の立案を AI が支援するようになるでしょう。また、生成 AI が多様な視点からの分析レポートやペルソナ、カスタマージャーニーの草案を多言語で作成するなど、これまで以上に迅速で、個々の消費者に寄り添った深い顧客理解、そして新たな価値提案に繋がる革新的な活用が期待されています。

これらの大きな可能性を追求していく上で、私たちリサーチ業界としては、AI 倫理やデータガバナンスへの意識を一層高め、その適切な利活用を推進するとともに、AI 技術を使いこなし人間ならではの洞察力和融合させて新たな価値を創造できる人材の育成に、より一層力を注いでいくことが求められるのではないのでしょうか。

＜JMRA ウェブ・メルマガ委員会＞

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

特 集



第1回理事会にて JMRA2025年度の体制が決定

第 1 回理事会にて JMRA2025 年度の体制が決定しました

5 月 28 日に開催された一般社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会第 15 回定時社員総会の後に開催された第 1 回理事会において、五十嵐幹会長が再任されました。

再任にあたり、インサイト産業の展望や本年度 JMRA が 50 周年を迎えることについての所信が述べられました。

[詳しくはこちら](#)

特 集



APRC カンファレンス 2025: JMRA50 周年イベントと併催 世界に目を向け、アジアと共に発展する業界を目指そう！

JMRA 創立 50 周年記念カンファレンス(10 月 2 日開催)まで、残り 3 ヶ月余となりました。本メルマガでもこれから特集記事を組んでいきますが、今回は併催される APRC カンファレンス 2025 についてご紹介します。アジア太平洋地域のリサーチャーも多数参加される見込みですので、絶好の国際交流の機会としていただきたいと思います。

あまりなじみのない方も多いと思われますが、APRC(Asia Pacific Research Committee)はアジア太平洋地域における 9 カ国の市場調査協会間の、国際的な連携を推進するための組織です。現在の会長には、JMRA を代表して細川慎一氏(GMO リサーチ & AI)が就任しています。主たる目的は、当該地域における市場調査の品質向上、相互理解の促進、国際協力の強化です。

アジアの仲間とともに未来を描くために、10 月 2 日、会場で世界各国のリサーチャーと語り合ってみませんか？

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

インターネット調査の未来を守るには モニター管理者視点で見た 現場の限界と調査改革の提言

インターネット調査の未来を守るには モニター管理者視点で見た現場の限界と調査改革の提言

インターネット調査の信頼性がいま、大きく揺らいでいます。その背景には、調査協力者であるモニターの離脱や負担増加、調査設計の課題、謝礼設計の不均衡といった深刻な問題が存在します。

本報告では、主要調査会社のモニター管理者による座談会を通じて、こうした現場の声を集め、業界全体で取り組むべき改善策を提言しています。

モニターを単なる回答者ではなく“協力者”として捉え直す視点や、調査品質を守るための具体的なルール改訂の必要性について、ウェブ・メルマガ委員会の村上智章委員長が提起しました。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



レイ・ポインター氏の最新AI講座

『生成AI:CoPilotとChatGPT
リサーチ&インサイト活用最前線』

2025年6月4日(水) 10:00~16:00

開催報告

開催報告:レイ・ポインター 生成 AI リサーチ活用最前線セミナー

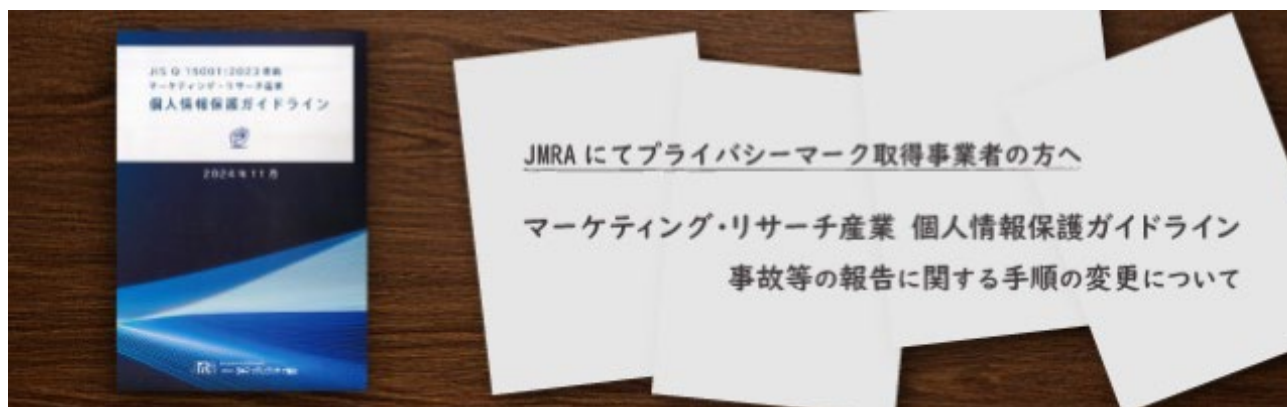
ESOMAR の前会長で、リサーチ・インサイトに特化した生成 AI の活用について世界中のリサーチャー向けに研修を行っている、レイ・ポインター氏の講座が 6 月 4 日に対面式で行われました。

世の中には、生成 AI の講座は数多くありますが、絶えず進化し続ける生成 AI のリサーチにおける活用法を、リサーチおよび生成 AI 双方の最前線にいるレイ・ポインター本人から直接聞く機会はなかなか得られないものです。

当日は、講師は英語で説明し、AI の同時翻訳による日本語字幕も活用しながら、吉田朋子さんによる日本語サポートで進行しました。AI 活用レベル、リサーチ経験、英語レベルもさまざまな参加者でしたが、みなさんそれぞれに、現時点での生成 AI の全体像、業務での活用のメリット、今後の活用イメージをつかむことができたのではないかと思います。盛りだくさんの講義内容の中からほんの一部ですが、ご紹介します。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



JMRA にてプライバシーマークを取得された事業者の方へ
プライバシーマーク事故報告の報告手順について

P マーク事故報告の報告手順が昨年 10 月末に変更されています。

今回は特別に、2024 年 10 月 31 日から変更された P マーク事故報告の JMRA への報告手順について、「JIS Q 15001:2023 準拠 マーケティング・リサーチ産業個人情報保護ガイドライン」(2024 年 11 月 1 日発行 第 1 版)「7.4.3 緊急事態への準備」(p.62～p.66)を担当したコンプライアンス委員会の野口秀樹さんが、変更内容の解説を作成してくださったので、ご紹介します。

[詳しくはこちら](#)

連 載

JMRA マーケティングデータ・ストレージ ピックアップセレクション

最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

●睡眠に関する調査(2025)実態編
(2025.05.02 (株)クロス・マーケティング)
「質の良い睡眠」のための関連商品が様々な分野から上市されていますが、睡眠時の悩みは「いびき」「歯ぎしり」が TOP2 で、男性は「いびき」女性は「歯ぎしり」が最も高い結果となっています。

今月の注目調査

●～期限が長くなった場合の生活者の反応は？～ 消費期限・賞味期限に関する調査
(2025.05.27 日本インフォメーション(株))
食品ロスを減らす取り組みをしている人は上昇傾向にあり、食品ロスへの関心は高まっているようです。
また「食品期限表示の設定のためのガイドライン」が改定され、事業者に消費期限・賞味期限を長くすることを促す内容になっていますが、それについても 7 割が賛成しています。

[詳しくはこちら
\(JMRAマーケティングデータ・ストレージ\)](#)

[詳しくはこちら
\(JMRAマーケティングデータ・ストレージ\)](#)

連載

What's happened?

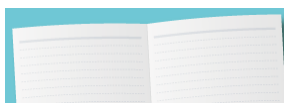
おすすめ記事をピックアップしてご紹介



今月の注目記事

●広告効果 5.1 倍！

Spotify と電通ジャパン・インターナショナルブランドズが調査で示す今後の重要指標



今月の注目記事

●なぜ若者ほど「アテンションの高い動画広告」を好むのか

タイパ意識を軸に考察

[詳しくはこちら
\(外部サイト:MarkeZine\)](#)

[詳しくはこちら
\(外部サイト:MarkeZine\)](#)

教育講座・セミナー案内



マーケティング・リサーチ ベーシックコース (春季)

2025年5月1日(木)～6月30日(月)

●マーケティング・リサーチ ベーシックコース(春季)

本講座は、初めてマーケティング・リサーチ業務に接する人から3年程度の業務経験を重ねた方の、リサーチの全体像の知識取得と理解を目標として開講するものです。

講座の内容は、マーケティング・リサーチの基本である、定量調査と定性調査の基礎を理解し、マーケティング・リサーチの全体を俯瞰して体系的に学びます。そのうえで、調査の各工程は有機的に結合し、ある工程の成果は次の工程に大きく影響することを踏まえて、各工程に従事する人が、調査の全工程を含む知識を有することができるものとなっています。

今期より定量調査の解説に多くの事例を紹介し、より理解しやすくなるように編集をいたしました。

た。

マーケティング・リサーチの実務を担当して日の浅い方や調査の基本を知りたい方、また、調査の営業・企画担当者に受講をお勧めします。。

・日程(視聴期間):2025年5月1日(木)10:00~6月30日(月)17:00まで

・会場:オンデマンド+フォローアップ講座

[詳しくはこちら](#)



定性調査がわかる基礎講座

2025年7月3日(木)

●定性調査がわかる基礎講座

実務経験豊富な講師陣が、体験に基づいた定性調査の魅力と基礎知識をぎゅっと凝縮してお伝えします。

これから定性調査に取り組もうという方、定性調査のプロジェクトを進める上でのビギナーやアシスタントの役割を担う方、また、定性調査を担当するようになったものの、いまひとつ確信がもてないと感じておられる方にも、ぜひご参加いただきたいオンライン講座です。

定性調査のおもしろさ、醍醐味、実務の流れ、設計上必要なこと、注意点を、講義とワークとQ&Aで、体感的に学べます。

・日程:2025年7月3日(木)10:00~16:00

・会場:Zoom ミーティング

[詳しくはこちら](#)



定性調査 実務に役立つ企画力養成講座

2025年7月9日(水)・16日(水)・23日(水)・30日(水)

●定性調査 実務に役立つ企画力養成講座

調査意図を見極めて、分析的な視点で企画する力を身に付けます。

企画は調査の羅針盤です。企画をしっかりと考えることは、調査そのものの価値を上げ、役に立つアウトプットを導くことに繋がります。本講座では、クライアントのマーケティング課題を、調査目的→調査課題→調査項目と整理し、フローにつなげる流れを体系的に学びます。実際の実務の中で「シマッタ！を無くしたい」、「より満足度の高い定性調査にしていきたい」、そんな方々にご参加いただきたい講座です。

実際に直面するような事例を使った実践的なワーク体験で、考える力を身に付けます。

複数の事例で、考える&実践的なワークを通して学びます。

まず個人で考え、次に少人数のグループでディスカッションという組み合わせでワークを行うことで、知識をしっかり腹落ちさせます。

・日程:2025 年 7 月 9 日(水)11:00～17:00、

7 月 16 日(水)・23 日(水)・30 日(水)13:00～17:00

・会場:7 月 9 日(水)JMRA 研修室、

7 月 16 日(水)・23 日(水)・30 日(水)Zoom ミーティング

[詳しくはこちら](#)



●グラフィカルモデリング(GM)入門

JMRA リサーチ・イノベーション委員会では 2025 年度のデータサイエンス研究会活動の一環として、7 月 10 日(木)に早稲田大学人間科学部の小島隆矢教授をお招きし、「グラフィカルモデリング(GM: Graphical Modeling)入門」セミナーを実施します。

今年度の研究テーマは「因果推論」。

大多数のリサーチャーがデータ分析や報告書作成の過程で「そのデータから単なる相関関係ではなく、因果関係を認めてよいか？」を自問していると思いますが、それを数学的に検証するところまで行われている事例は少ないのではないのでしょうか？

グラフィカルモデリング(GM)は近年、機械学習の手法を取り入れることで、データの構造を視覚的に理解しやすくし、調査レポートを効率化／充実化させるものと期待されています。

当日は具体的な分析事例のご紹介のほか、Excel で実践に使えるツールも配布される予定です。日ごろリサーチデータの集計分析を担当しておられる皆さんに特にお勧めです。

・日程:2025 年 7 月 10 日(木)15:00～17:00

・会場:JMRA 研修室(リアル参加のみ)

[詳しくはこちら](#)

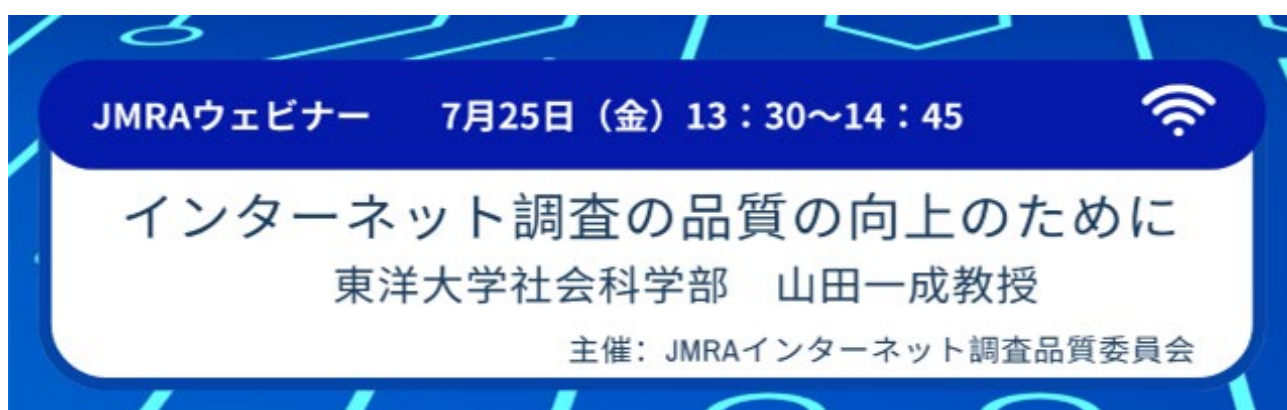
●2025 年度 AI・イノベーションセミナー「第 1 回:生成 AI がもたらすオンラインアンケートの新時代」

リサーチ・イノベーション委員会がお贈りする今年の AI・イノベーションセミナー第一弾は、(株)クロス・マーケティング様と(株)メタサイト様にご登壇いただきます。オンラインアンケートの自由回答、皆さんはどのように活用されていますか？ 生成 AI を活用した対話型アンケート「Light Depth(ライトデプス)」の事例をご紹介します。

・日程:2025 年 7 月 22 日(火)12:00～12:50

・会場:Zoom ミーティングを使用

詳細は後日ホームページにてご案内します。



●インターネット調査の品質の向上のために

インターネット調査では近年、モニターの維持や若年層の獲得が一層困難になっており、不適切な回答の増加も課題となっています。スマートフォンの普及や生活スタイルの変化が影響する中で、調査の質をどう保ち、高めていくかが問われています。

本講演では、WEB 調査の方法論を研究されている東洋大学教授・山田一成先生をお招きし、実

際の調査事例を交えながら、課題解決に向けたヒントや実務に役立つ視点をお話しいただきます。

インターネット調査でよりよいデータを得るために、私たち自身が今できることを学ぶ機会です。本セミナーは、調査会社のリサーチャー・営業担当者だけでなく、メーカー、広告会社など調査を依頼するクライアント企業のご担当者様も含め、調査の企画・設計に関わるすべての人に聞いていただきたい内容です。

・日程:2025 年 7 月 25 日(金) 13:30~14:45

・会場:Zoom ウェビナー

詳しくはこちら



定性調査 インタビューフロー作成講座

2025 年 8 月 6 日(水)・8 日(金)

●定性調査 インタビューフロー作成講座

定性調査の経験がある方々からの「インタビューをしても調査課題に繋がるような結果がうまく引き出せなかったので何とかしたい」、「インタビューフローを自己流で作ってきたが、これで良いのかよくわからない」、「このインタビューフローが的確かどうかを判断できるようになりたい」といったお声にお応えした座学と実践を交えた新設講座です。

まず、オンデマンド受講で、インタビューフローの役割とモデレーターとしての実戦経験の中から考えるインタビューフローの作成手順を学びます。

その後、具体的な模擬課題(調査企画書)からインタビューフローを作成することを宿題として行い、そのご自身が作成したインタビューフローに対し、講師がマンツーマンで直接フィードバックをします。

本講座では現場ですぐに活かせる学びを得て、調査課題を明らかにするインタビューフローを作れるようになることを目指します。

・日程:2025 年 8 月 6 日(水)・8 日(金) 各日 10:00~17:00

* 上記時間内の 1 時間枠で個別指導を行います。時間枠は後日割り振りします。

* 個別指導を Zoom ミーティングを使用します。

詳しくはこちら

お知らせ

●7月号は7月15日(火)発行予定です

◆このメールはメルマガをご登録された方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は [こちら](#)よりお願いいたします。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。

◆配信元: 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階

<https://www.jmra-net.or.jp/>

office@jmra-net.or.jp